

ぎ かい の 柱

NO.68 令和3年2月1日号

1 2月定例会などの内容をお伝えします。



CONTENTS

- 特集「除雪と向き合う人
×市議会」…P2～3
- 1 2月定例会の審議……………P4
- 議案等の表決状況
／討論／臨時会……………P5
- 常任委員会審査報告……………P6～7
- 請願・陳情……………P7
- 一般質問……………P8～11
- 議会全員協議会……………P11
- 秋田県地方自治功労者表彰…P12

特集 みんなの声
「除雪と向き合う人
×市議会」

特集 みんなの声

除雪と 向き合う人

× 市議会

特別豪雪地帯に住み雪と向き合う

令和2年12月18日、今年度の寒気の第1波襲来時に阿仁地区にお住いの下新町町内会長の北林昭男さんと副会長の田口雅俊さんに、補助金を活用して用意した除雪機を見学させていただきました。その活用について伺ってまいりました。また、特別豪雪地帯での冬期間の除雪についての現状や、雪との向き合い方などについてもお話を聞く事が出来ました。今回はその時のお話を紹介します。

議員 補助金の活用など、公的な資金を使って除雪機を購入した経緯を教えてください。

北林 阿仁地区の下新町では、除雪車が除雪して置いていた雪は、流雪溝に捨てていますが、その雪が非常に重く、流雪溝に人力で流し込んでいくのは大変です。そんな中、市から案内のあった宝くじ補助金に申請したところ助成を受けられることが出来、自治会として雪を押し除雪機を用意することが出来ました。前会長が精力的に動いてくれて用意することが出来て感謝しています。

議員 雪を押し除雪機は何台くらい用意されましたか。

北林 雪を押し除雪機4台と、パイロン、ヘルメット、反射タスキなどで、総額130万円くらいでした。補助金が1

00万円だったので、町内会の負担は30万円でした。

議員 雪を押し除雪機を使用して除雪ができるようになり便利になりましたか。

北林 使ってみると確かにいい時もありました。ただ、機械が使いにくいものだから、朝の除雪が置いていった雪は重くて大変です。それでも日中降った雪を流雪溝へ捨てるのには大変助かっています。

議員 使用するにあたって制約や料金などはありますか。

北林 町内会の方であれば誰でも無料で使うことができます。ただし、燃料は使った人が補充して戻すというルールになっています。

議員 雪を飛ばす除雪機もありましたが、それも町内会で用意されたのですか。

田口 はい。そうです。雪を

飛ばす除雪機は2台ありますね。あれは平成23年に用意したものと記憶しています。

議員 個人で除雪機を用意するのは大変ですが、自治会で、誰でも使っている除雪機が用意されていることはいいことですね。

田口 除雪機があることもありがたいことですが、この地区には流雪溝が用意されているから、本当に助かっています。

議員 流雪溝は水が流れる時間は決まっているのですか。

田口 下新町は、荒瀬川から阿仁川に合流するところから取水して常時流しているのですが、いつでも流雪溝が使えます。ですが水無地区は、川からポンプで水をくみ上げているので流す時間が決まっているからです。だからいつでも捨て

られるわけではないので大変だと聞いています。負担金も違うと言っていましたね。

北林 流雪溝はすぐ便利です。北秋田市内でも、ここくらい流雪溝が整っている地区は無いと思いますよ。ちょっと降ってもすぐ捨てられるから助かります。

議員 鷹巣地区は側溝なんかに雪を捨てると、側溝が狭すぎてすぐ詰まってしまいますけど、この流雪溝は詰まったりすることはありますか。

北林 そうは詰まりませんが、今回の新潟の大雪のように、一気に降った場合は詰まりますね。過去に詰まって川のようになったことがあります。事務局から同じ時間に流し込まないよう呼びかけています。また、事務局から除雪機など使えるものは使ってくださいと呼びかけていますが、残念ながら除雪をする体力もなくなってきた高齢者が増えてきており、そういう方はシルバー人材センターに委託して寄せてもらっています。地域で協力しながらやってあげられたらいいとは思っています。自分の敷地で精一杯な現状です。除雪を頼んでいる人は金銭的にきついと思います。

議員 福祉の雪事業などの補助金もありますが利用はして

いますか。

田口 ここにはすぐ近くに社協があるから、相談するといろいろ段取りしてくれるので助かっています。

阿仁地区は特別豪雪地帯です。比立内に行くともっと雪はすごいです。ひと冬に何回も屋根の雪下ろしをしなくてはいけないし、敷地内や道路の除排雪もとてもお金がかかります。北秋田市一律ではな



右から北林昭男さん、田口雅俊さん

く、その様なことも考慮して、特別豪雪地帯にはそれに応じた補助金の整備をしていただきたいと思います。

屋根の雪下ろしはすごく重労働なので、料金も高いです。市では賃金の標準額を決めているのでありがたいのですが、この地区は雪下ろしの回数が違うので、そのことも考慮してもらわないと年金暮らしになると辛いものがあると思いますね。

議員 そうですね。そのことに関しては多くの議員が今まで一般質問で要望しています。が、未だ進んでいませんね。私たちも当局へ対しての要望は強めていますけれど、やはり住民の方からの声が一番になってきます。

田口 補助金も除雪代金を支払ってから交付されますが手元にお金がないときついですよ。医療費の高額医療費制度とかあるが、あれも1回申請してカード作るといいが、最初は自分で払ってからでないと戻ってこないの、しんどすぎると思うんですよ。

議員 前もって市役所の窓口などに申請してもらえば大丈夫なんですけれど、支払った後だとそうなりますね。

田口 広報が徹底していないから知らない人も結構いるん

ですよ。

市は除雪した雪を置いていくのですが、その雪や自分の敷地内の雪を流雪溝に流していい事になっています。その代わり、通勤と通学の道路の確保をするのが流雪溝を使う条件になっているんです。だから除雪車が置いていった雪は各家で片づけることになっています。ところが近年、空き家が出てきて、その雪は放りっぱなしですよ。通勤、通学路が確保されていないという現状があります。定期的ではないですけど雪がたまれば、市で除雪はしてくれているけども、できればもう少し頻度を増やしてほしいという要望があります。

北林 旧阿仁町に関しては阿仁合駅があって、そこが中心になっているので除雪、排雪が充実しているところがたくさんあります。私は市の除雪はよくやってくれていると思っています。ですが、問題はやはり女性や高齢者は自分ができない分、除雪に対して金額の負担があるので、そこをサポートしてくれる何かあればいいなと思っています。最後に・・・雪と戦うのは大変だな。

議員 貴重なお話を伺うことが出来ました。これから冬本番になります。今年も雪に負

けないように頑張ってください。ありがとうございました。

取材を終えて、

今回取材を受けてくださいました下新町町内会の会長さん、副会長さんとも、自治会内の全体のことを考えて、明るく前向きに冬期間への準備をしておりました。お話を終えて感じたことは、北秋田市は面積が広く、地区によって雪の量が違うので、北秋田市一律ではなく、その地区に応じた行政サービスが必要であると感じました。また、高齢化により自分の敷地を自分で除雪できない方が増え、委託して除排雪しなくてはいけない方が多く、金銭の負担が大変であると認識しました。その方々のサポートが今後の課題であると感じました。市議会としても除排雪について今後どうあるべきかを考えていきます。

一般会計補正予算1億216万2千円増 総額292億2378万6千円



12月定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 北秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市諸収入金に係わる督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 北秋田市介護予防・地域支えあい事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定
- 秋田県市町村事務組合格約の一部変更について
- 北秋田市荒瀬地区コミュニティセンターの指定管理者の指定
- 北秋田市菅森吉山阿仁スキー場の指定管理者の指定

令和2年北秋田市議会12月定例会は12月10日（木）から12月22日（火）までの13日間の会期で行われました。12月定例会では条例案3件、予算案9件、その他議案等7件、陳情6件が審議され、議案はすべての案件が可決されました。陳情においては4件が採択され意見書を提出、1件は一部採択、1件は不採択となりました。

今定例会でも、新型コロナウイルス感染症防止のため、出席者はマスク着用、議員席には仕切りを設置、傍聴者席は間隔をあけての開催となりました。

主 な 事 業	補 正 予 算 額
秋田北鷹高等学校女子全国高等学校駅伝競走大会出場補助金	500,000円
ふるさと納税に係わる報償品	51,121,000円
ふるさと納税返礼品発注業務委託	8,767,000円
移住者住まい応援助成金	5,600,000円
生活バス路線維持費等補助金	18,123,000円
湯ノ岱温泉ポンプ取替え工事請負費	2,277,000円
道路維持工事請負費（繰り越し明許費）	51,000,000円
教育振興費（令和3年度教師用教科書・指導書・指導用教材）	6,829,000円

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属党派・議員氏名 採決結果 議案名	採決結果	新創会					みらい					緑風・公明			共産党 議員団			無党派			
		佐藤 重光	虻川 敬	杉淵 一弘	佐藤 文信	松尾 秀一	松橋 隆	佐藤 光子	大森 光信	中嶋 洋子	黒澤 芳彦	堀部 壽	小笠原 寿	武田 浩人	関口 正則	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	山田 博康	福岡 由巳	長崎 克彦
【令和2年12月定例会／令和2年12月22日採決】																					
議案第115号 北秋田市営森吉山阿仁スキー場の指定管理者の指定について	可決	○	●	○	○	▼	○	●	●	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第34号 75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国へ意見書提出の陳情	不採択	●	●	●	●	▼	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●
陳情第36号 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	一部採択	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●

※全会一致の可決、採択となったものは除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、採決には加わりません。

賛成・反対討論

議案第115号

反対討論

大森 光信 議員

事故後、まだ警察の調査が終わっていない。しっかりとした再発防止策を市に示してから再度上程するべき。

賛成討論

山田 博康 議員

本来事故はあってはならない事だが、これを教訓に更なる安全対策を徹底し事業を継続する事が大切だと思う。

陳情第34号

賛成討論

久留嶋 範子 議員

高齢者の厳しい生活に追い打ちをかけるもの。若い世代の負担軽減ならば、国としての公的役割を果たすべき。

反対討論

中嶋 洋子 議員

給付は高齢者中心、負担は現役世代中心というこれまでの社会保障の構造を見直し、全ての世代を対象とすべき。

賛成討論

福岡 由巳 議員

「社会保障のため」と称し消費税10%引上げ、年金6.4%減少。そして新たな負担を強いるものであり陳情に賛成。

反対討論

杉淵 一弘 議員

財源の4割が、健康保険組合からの支援だが、医療費増加により、その財源を圧迫。現役世代の負担軽減を望む。

陳情第36号

(一部採択することについて)

反対討論

板垣 淳 議員

今は公共施設・敷地は禁煙が当たり前の時代だ。よって公共喫煙所設置を求めるこの陳情は不採択にすべき。

賛成討論

佐藤 光子 議員

喫煙者、非喫煙者が共存できるような社会を目指す、つまりは望まない受動喫煙防止のための分煙の徹底が重要。

第5回臨時会

第5回臨時会が11月27日に開かれ条例案1件、その他議案1件の計2件が提出されました。

北秋田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について当局から「人事院及び秋田県人事委員会が行った公務員給与に関する勧告を尊重し、一般職、市長、副市長、教育長、市議会議員の令和2年度以降の期末手当の支給割合を0.05月引き下げる。また、会計年度任用職員については令和3年度以降から0.05月引き下げる」と説明がありました。

米代流域衛生センター解体撤去工事の工事請負契約の締結について当局から「一般競争入札を行った結果、3億6190万円で落札されたことから、工事請負契約の締結について議会の議決を経る必要があるため提案した」との説明がありました。

提出された議案は、全て全会一致で可決されました。

総務文教常任委員会

北鷹駅伝全国大会に補助金

本委員会に付託されました事件は、条例案2件、予算案2件、単行議案1件、陳情1件の計6件です。

一般会計補正予算(第9号)については総務課関係で秋田北鷹高校の全国駅伝大会への補助金について、委員から「今後、駅伝以外にも要望があった場合は対応できるのか」との質疑に、当局から「県立高校であり、市にとってメリットや市民に恩恵があるのかということとを踏まえて判断する」との答弁がありました。

ふるさと納税 寄付額急増

総合政策課関係では、ふるさと納税返礼品について、当局からは「寄付額が急増したことによる返礼品が品薄になるなどの不都合については、在庫の状況をその都度確認しており、寄附をいただいで返礼品が届かない等のトラブルはない」との答弁がありました。

上のような審査を踏まえ、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、この他の条例案、予算案、単行議案についても全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情について、地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書については、反対、賛成の意見のほか、2つの陳情項目については賛成という意見があり、採決にあたっては、一部採択について反対の立場から「健康を重視する立場から、この陳情に反対である」また、賛成の立場から「分煙社会の実現ということで、積極的に喫煙場所の増設という部分に関しては賛成できないが、喫煙場所の整備に関して、国に要望していくことは賛成である」との討論がありました。

採決の結果、賛成多数で一部採択と決しました。

(委員長 大森 光信)

市民福祉常任委員会

外出支援サービス 利用者負担1年先送り

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案7件、単行議案1件、陳情5件の計14件でした。

介護予防・地域支援合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「延長期間について1年だけでよいのか疑問を感じます。利用者の負担を考えれば『当分の間』とする考えは。また、十分に検討されたのか」との質疑があり、当局から「福祉有償運送等運営協議会に諮って進めており、今回の1年先送りについても了解を得ての提案です」との答弁がありました。

コロナの影響で 検診2割減少

一般会計補正予算については、委員から「検診について今年はコロナの影響で県のがん検診の受診者が減少し、集団検診も自治体によって中止をしている所も

ありますが、本市の現状はどうか」との質疑があり、当局から「本市では中止等もあつたが、振替日程を設定し、各地区、昨年と同様に回れるように調整をしました。また、12月末までの医療機関方式もあり、周知を図っていますが、約2割ぐらいの減少が見込まれます」との答弁がありました。

介護保険特別会計補正予算について、委員から「高額介護サービス費が歳入に計上されていますが多くの理由は」との質疑があり、当局から「昨年10月に消費税引き上げに伴い、介護報酬も改定され、不足が見込まれるため、実績を見込んでの増額となっております」との答弁がありました。

以上の審査を踏まえ、条例案1件、予算案7件、単行議案1件は全会一致で可決すべきものと決しました。陳情4件は採択、1件は不採択と決しました。

(委員長 佐藤 文信)

3つの常任委員会

産業建設常任委員会

湯ノ岱温泉修理後再開

当委員会に付託された案件は、予算案3件、単行議案1件の計4件でした。

一般会計補正予算については、新規狩猟免許取得者確保対策事業費補助金について委員から「今年度の申請は何人で北秋田市の狩猟免許所得者状況は、どうなっているか」との質疑があり、当局からは「今年度の申請は一種（鉄砲）が4人、

猟が3人の計7人。狩猟免許所得者は少しずつだが増えている状況」との答弁がありました。

商工観光課関係では、湯ノ岱温泉ポンプ取り替えに係る工事請負費について、委員からは「ポンプは何年程度、稼働できるものか、また、利用者の状況と維持管理料など経費から利用料金を差し引くと市は年間どのくらい負担しているのか」との質疑があり、当局からは「今回、故障したポンプは平成17年に導入した物で約15年稼働している。

利用者数は昨年度で1万4200人、平成28年度では約1万5600人で減少が続いている状況、市の持ち出しは昨年度、約600万円である」との答弁がありました。

阿仁スキー場 指定管理者継続

単行議案の阿仁スキー場指定管理者について、委員から「森吉山のゴンドラは北秋田市の中でも目玉になる観光施設である、事後報告の協議ではなく、市からも事前の段階から話し合いをとってもらいたいが可能か」との質疑があり、当局からは「事業者と一緒に改善していけるように、常に話し合いを行っていきたい」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全ての議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 堀部 壽)

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
安全・安心の医療・介護の実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川 洋基	採択	提出
「新型コロナ対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出
75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国へ意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	不採択	
「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出
地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	秋田県たばこ販売協議会 会長 畠山 彦義 秋田県たばこ耕作組合 組合長 加藤 義康 秋田県たばこ友の会 会長 宮崎 正樹 秋田県飲食業生活衛生同業組合 理事長 齊藤 育雄	一部採択	
加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める陳情	全日本年金者組合北秋田支部 支部長 高坂 豊實	採択	提出

活かそう市民の声 市政を問う! 一般質問

山田 博康 議員 (P8)

- ◆指定管理について
- ◆コロナ感染への対応
- ◆職員採用について

大森 光信 議員 (P8)

- ◆統計について
- ◆市長の出馬表明について
- ◆観光行政について

長崎 克彦 議員 (P9)

- ◆人口減少について
- ◆小中学校適正規模配置について

小笠原 寿 議員 (P9)

- ◆地域振興について
- ◆市政について

三浦 倫美 議員 (P9)

- ◆相談窓口の設置について

板垣 淳 議員 (P10)

- ◆コロナ対策
- ◆マイナンバーカードについて

久留嶋 範子 議員 (P10)

- ◆新型コロナウイルス感染拡大について
- ◆湯ノ岱温泉について

虻川 敬 議員 (P10)

- ◆当市の産業の取り巻く環境について
- ◆移住定住について
- ◆市内スポーツ施設について

福岡 由巳 議員 (P11)

- ◆観光の振興について
- ◆鷹ノ巣駅前周辺の賑わいづくりについて

指定管理施設 応募無しへの対応

山田 博康 (無党派)



QRコード 動画へ

Q 期限を迎える4施設の内3施設が応募無しで再募集の事ですが、何故その様な事態になったのか。競争を働かせるのは当然であるが雇用の継続を確保するにも特別事情が無い限り指定管理継続に向け事前に協議の機会が必要と思うが。

A 協定継続を前提とした事前協議は行っていません。同じ事業者が続けてもらえば一番良いが、ガイドラインに基づき公募するというハードルがあります。
Q コロナ禍が発生し8カ月余り経過し感染予防対策を各自が責任をもって実践することにより感染拡大を防ぐ事が判ってきています。幸い当市で感染者は発生

していませんが、市主催の行事がコロナ感染を理由にことごとく中止されている。十分な予防対策をして見直しを含め検討するべきと考えるが今後の対応は。

A 各種行事は県の対応方針を踏まえて市感染症対策本部で決定した市主催の集会等の取扱いに基づき対応しています。クラスターの未然防止や医療体制の逼迫を招かないためにも、各種行事開催は適正に判断してまいります。



応募のなかった森吉山荘

市の現状を わかりやすく公表を

大森 光信 (みらい)



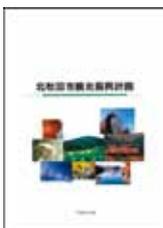
QRコード 動画へ

Q 本市の良さや現状をわかりやすく市民や移住希望者に伝えるため、「数字で見る北秋田市」と題し、アイコン等を活用した各種データを広報や市ホームページ等で発信する必要があると思うが。

A 視覚的に分かりやすい仕掛けだと思うので、参考とさせていただきます。
Q 4期目の出馬の意思はあるのか。
A 今まで以上に市民が安心して健康に住み続けられるような政策を打ち出し、力強く押し進めていく役割を担わせていただきたい。
Q コロナ禍における観光振興、マイクロツーリズムの必要性、観光トレンドの変化などに対応する

ため、今だからこそ観光振興計画の再策定が必要だと思うが。
A 市の観光施策を市民や事業者に示めるよう検討したい。
Q 観光関係の指定管理施設の管理料は、安定経営に見合ったものになっているか。また、もし応募がなかった場合、市で直営するのか。

A 過去3年の収支報告で算出している。応募がなかった場合は、当市の重要な拠点であることから、何らかの方法で営業を継続していく。



未策定のままの観光振興計画 (写真は平成27年までの計画)

移住・定住で

人口減対策を

長崎 克彦（無党派）



QRコード 動画へ

Q 当市の人口は現在3万968人。年間600人程の減少が続いています。人口減少を緩やかにするため、移住・定住

対策や地域おこし協力隊などの皆様で一定の人口減少抑制に効果が現れていると思うがどうか。

A 移住・定住支援室を設置し組織強化を図った結果、15年度から19年度までの5年間累計で128世帯、170人とその成果が表れている。

Q 今後、移住・定住を含めた地域おこし協力隊に対しどう取り組みするのか。

A 新たに結婚コーディネートネーターを募集している。隊員にはそれぞれの得意分野があり、そのテーマに沿った取り組みを

進めていく。

Q 小中学校の適正規模配置についての考え方は。

A 小中学校適正規模プランを策定し、それを基に再編を進めている。

Q 阿仁・森吉地区の統廃合は今後どう進めるのか。

A 大阿仁小と阿仁合小を統合し、阿仁中も合わせた小中併設校、または、義務教育学校を阿仁合地区に造る方向で検討する。統合の時期、学校の建設、または建て直しなどについては今後検討する。



地域おこし協力隊

市有地を利用して

朝市・フリマを

小笠原 寿（緑風・公明）



QRコード 動画へ

Q コムコム周辺の職員駐車場を日曜日に開放して、朝市・フリーマーケットを開催できないか。

A コムコムの駐車場利用時間帯、開催運営方式などの課題を整理した上で具体的な検討に入りたい。

Q 県に働きかけ、阿仁中村地区にある「秋田県水産振興センター」内水面試験池」周辺に、淡水魚のミニ水族館建設を。

A 県の施設であり、照会するなど調査を進めたい。

Q プロ野球チーム「オリックス・バッファローズ」の来季監督になられる中嶋聡さんを将来、「北秋田市ふるさと大使」になってもらえるよう要請準備を。

A 諸手を挙げ依頼



日曜日に開放して有効利用

したいが、多忙期。タイミングやどのようにかかわってもらえるかも含め、前向きに検討したい。

Q 第2次北秋田市総合計画の後期計画が来年度から始まるが前期計画との違いと重点項目は。

A 大きな5つの基本理念に変更はないがコロナに関連した生活様式への対応や友好交流都市協定を締結した国立市などの地域間交流の推進、テレワークといった働き方への対応などを組み入れる。

家族が亡くなった際の

手続支援を

三浦 倫美（日本共産党議員団）



QRコード 動画へ

Q 手続き支援の現状と今後の方針は

A 市民課窓口では死亡届の受理、火葬の斎場使用許可証発行、住民基本台帳の届出処理を行い、13項目の手続内容の一覧表を渡して説明しております。

本庁舎では市民課福祉課、高齢福祉課で共通のツールを使用し、最初に訪れた課での必要事項の記入により、必要な用紙が印字され、負担軽減になっていきます。税務課関係は、必要に応じて納税義務者変更届、共有資産代表者の変更届、軽自動車税の所有者・使用者変更届等の提出等様々なケースがあり、状況に応じた支援を行っています。上下水道料金に関

しては、宮前町庁舎の水道お客様センターのほか、各総合窓口センターや出張所にて手続いただきませす。

ご遺族の気持ちに寄り添いながら負担軽減への創意工夫を重ねており、さらに幾つかの課題がありますので、先進自治体の事例等も参考にしながら、よりスムーズに簡単に手続きができる窓口対応の簡素化・一元化に向けて研究・検討を進めてまいります。



窓口対応簡素化一元化検討

活かそう市民の声 市政を問う! 一般質問

コロナ対策を万全に

板垣 淳
(日本共産党議員団)

Q コロナ対策はやるべきことがたくさんある。国からのコロナ臨時交付金6億円も使って事業を旺盛に。

A 必要に応じて対応する。

Q 国はGOTOトラベルを一時停止するが、市も同じように首都圏往来補助事業を一時見直すべきでは。

A 今後の状況次第だが、今はその必要はない。

Q 市プレミアム応援チケットは、比較的小金がある半分の世帯しか使用していない。政治は困っている人のためにあるもの。低所得者も利用できる制度にするべき。

A 今後の参考にしたい。



Q 来年も高齢者らのインフルエンザ予防接種を無料に。

A 検討する。

Q マイナンバーカードについて。カードを持つか持たないかは任意なのに、市は持たせるための宣伝ばかりする。カードにはデメリットもある。中立・公正・公平であるべき行政がいいことだけ言ってマイナスの情報を出さないのは間違っている。

A 注意事項があることも周知しているつもりだ。



マイナンバーカード (みほん)

市民にPCR検査費用の助成を

久留嶋 範子
(日本共産党議員団)

Q コロナ感染拡大や重症化を防ぐため、高齢者や基礎疾患のある市民にPCR検査費用を助成できないか。

A 症状がない人については検査対象とならないため、今後は地域の発生状況や検査体制などを踏まえ、高齢者への検査実施について研究していきます。

Q 社会的検査とは医療機関、介護・福祉施設など、クラスターが発生すれば多大な影響がでる施設等で定期的なPCR検査を行うことです。そこに入院・入所する人の大半は高齢者であり、ここでの集団感染を防ぐことは重症・死亡事例の発生を抑えることに直結します。当市として



の必要性は。

A 当市における医療機関や福祉サービス施設に対する検査対応としては、施設の規模や地域内の検査体制もあるので、県の方針に基づき、保健所の指導の下、関係機関と連携して取り組んでいきます。

Q 湯ノ岱温泉は、老朽化し改修も必要だが今後の見通しについて伺います。

A 大規模改修や修繕は難しい。今後施設のあり方は、抜本的かつ効率的に進めていく必要がある。



休館している湯ノ岱温泉

当市の産業について

虹川 敬 (新創会)

Q 農業林業を成長産業と位置付けているか。

A 伸びしろある産業と捉え、今後担い手の育成・確保、農地・森林の集積・集約化、生産基盤の整備やスマート化により生産性の向上を目指す取組を推進する。

Q 林業の成長戦略や今後の森林資源の活用方法は。

A 森林が持つ多面的機能の発揮という農山村地域の重要な使命を果たすため、各種施策に取り組み、森林を集約し、大きい団地を作る事で仕事確保される。それに伴い事業体の経営も安定すると考えている。市の誘致企業にバイオマス発電をする業者がいるため、発電事業ある

はバイオマス事業を展開することを検討していきたい。

Q 指定管理施設の指定管理料算出方法は妥当か。報告を基にはなく市がシュミレーションし、予算を立てるべきでは。

A 指定管理者制度は最少の経費で最大の効果が得られる様、民間事業者のノウハウを生かし施設を運営して戴く制度である。ガイドラインに従い過去3年間の実績を基に積算している。これに基づき運営していく。



北秋田市の基幹産業は農林業

170万人の観光客目標
実現は可能か

福岡 由巳（無党派）



QRコード 動画へ

Q 第2次総合計画では本市への観光客入込数は令和2年度目標値で170万人。令和元年度実績は111万人弱と遠く及ばない。どのように総括しているか。

A 森吉山を中心とした滞留型観光の推進として阿仁スキー場の利用者数はおおむね目標を達成できた。一方、歴史・文化を活用した観光の推進により一層取り組む必要がある。

Q 後期基本計画最終年度である令和7年度の目標値は170万人か。また、その数字の根拠は何か。

A 森吉山県立自然公園の入込客数のほか、宿泊者数など数値目標を主要施策と連動させ効果が指標値に反映しやすい仕組みを採用することとしていたため目標値は設置していない。

Q 後期基本計画策定にあたり、コロナ禍のこともあり施策の方向性は全体的に見直しが必要であり、その際、グリーンツーリズム等を拡充するべきと考えるが。

A グリーンツーリズム等は自然型の観光にとつて大変重要なキーワードと認識している。施策の方向性は森吉山の自然と調和を図りながら滞留型観光をさらに推し進めていきたい。

年度	目標値	実績値
令和元年度	1,110,000人	1,110,000人
令和2年度	1,700,000人	1,700,000人

計画では観光客170万人と

議会全員協議会

第4回議会全員協議会

が12月22日に開催され、当局から策定中の第2次北秋田市総合計画後期基本計画の素案について説明がありました。

当局から「第2次北秋田市総合計画後期基本計画は令和3年度から令和7年度までを計画期間とし、今年度で終了する前期基本計画の施策体系を継承し、新たに地域におけるSociety 5.0の推進、地方創生SDGsの実現、新しい生活様式に対応した働き方、関係人口の創出などを盛り込んだ」と説明がありました。

※Society 5.0とは仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する社会のこと。

※SDGsとは持続可能な世界を実現するため、国連サミットで採択された国際目標のこと。

本会議の生中継や録画映像がスマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

スマートフォン・タブレットなどでご覧になる場合(QRコード)

①QRコード読み取りアプリを起動して下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像
配信先QRコード

※一般質問のQRコードを読み取ると直接録画映像がご覧になれます。

②再生ボタンをタップ



パソコンでご覧になる場合

(北秋田市ホームページ)



①メニューをクリック



②北秋田市議会をクリック

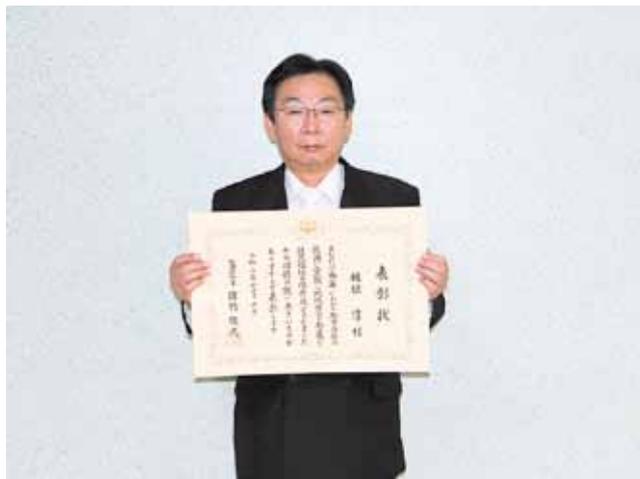
③市議会中継をクリック

(議会中継のページへ)



④再生をクリック
(本会議の生中継がご覧になれます)

秋田県地方自治功労者表彰



令和2年（第56回）秋田県地方自治功労者表彰式が令和2年11月6日に秋田県庁正庁で行われました。

この表彰は、県議会議員、市町村長、市町村議会議員、副市町村長等として、長年にわたり地方自治の進展に寄与された方の功績をたたえ表彰されるものです。当市議会からは、板垣淳議員が表彰されました。

議会を傍聴してみませんか？



市議会では、皆様の生活に直結した重要な問題を審議しています。どなたでも本会議を傍聴することができ、市議会の活動状況をご覧いただけます。皆様に開かれた議会を目指しておりますので、傍聴される多くの方々をお待ちしております。

なお、コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴される場合はマスクを着用していただくようご協力お願いします。

市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆様のご意見を募集しています》

- | | | | |
|-----|---------------------------------|------|--|
| ●対象 | 市内在住者又は通勤通学している人 | ●あて先 | 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号
北秋田市議会事務局 |
| ●方法 | 手紙、FAX、メールなど
(文字で読める形式のもの) | ●メール | gikai@city.kitaakita.akita.jp |
| ●公表 | ご意見をホームページや広報紙で
公表する場合があります。 | ●FAX | (0186) 62-4845 |

広報特別委員会

委員長 杉 渕 一 弘
副委員長 三 浦 倫 美
委員 蛇 川 敬
佐藤光子
武田浩人
佐藤重光

次の定例会は2月の予定です

各常任委員会の会場

総務文教 (本庁舎)
市民福祉 (本庁舎)
産業建設 (本庁舎)

※ 今年度の各委員会の県外所管事務調査は行わないことになったため、報告記事の掲載はありません。



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>

©1976, 2021 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO.L617300